

2019年10月11日

各 位

国際石油開発帝石株式会社
広報・IRユニット
(電話 03-5572-0233)

インドネシア共和国 アバディ LNG プロジェクト (マセラ鉱区) における
生産分与契約 (PSC) の修正契約および延長契約への調印について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社インペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じて操業主体 (オペレーター) を務めるアバディ LNG プロジェクト (以下、本プロジェクト) を、プロジェクトパートナーであるShell社 (以下、Shell) と共にインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区にて推進しておりますが、10月10日にジャカルタにおきましてインドネシアのイグナシウス・ジョナンエネルギー鉱物資源大臣立ち合いのもと、生産分与契約 (以下、PSC) の7年間の期間追加等にかかる修正契約、及び20年間の延長契約に調印いたしましたのでお知らせいたします。

PSCの7年間の期間追加等及び20年間の期間延長については、本年7月16日^(※)にインドネシア政府当局より本プロジェクトに係る改定開発計画の承認を受けた際に併せて承認を得ておりましたが、この度、当該承認を踏まえた修正契約及び延長契約にパートナーのShellと同国政府当局であるSKK Migasと共に署名したものです。

(※) 7月16日付公表：<https://www.inpex.co.jp/news/pdf/2019/20190716.pdf>



調印式の様子

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

本プロジェクトは、当社がインドネシアでオペレーターとして操業する初めての大型LNGプロジェクトです。アバディガス田は、世界有数の良好なガス田性状および埋蔵量を有するため、効率的な開発と長期に亘る安定的なLNG生産が期待されるとともに、インドネシア経済、特に発展が求められているインドネシア東部の経済に大きく貢献することが期待されます。本プロジェクトのLNG生産量は日本の年間LNG輸入量の1割強に相当する年産950万トン規模を想定しています。

当社は、本プロジェクトをより競争力のあるプロジェクトに仕上げられるようプロジェクトパートナーであるShellとともに、基本設計（FEED）作業開始の準備を進めてまいります。

以上

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

【参考情報】

<アバディ LNG プロジェクトの概要>

鉱区	インドネシア共和国 マセラ鉱区
契約期間	1998年11月16日から2055年11月15日
鉱区位置	マルク州サムラキ市沖合約150キロメートル
鉱区面積	約2,503平方キロメートル
水深	400・800メートル
生産規模	天然ガス総生産量（LNG換算）年産1,050万トン <ul style="list-style-type: none"> - LNG年産950万トン規模 - 鉱区周辺地域の現地需要向けにパイプラインガス供給を予定 コンデンセート日量最大約3.5万バレル規模
権益比率	当社（オペレーター、インペックスマセラアラフラ海石油（株）、当社連結子会社（当社出資比率51.93%））：65% SHELL社：35%
その他	2017年6月にインドネシア政府からNational Strategic Projectに、さらに同年9月にはPriority Infrastructure Projectに認定

<鉱区位置図>

